

Victory

NO.4
令和7年7月

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校図書館
*学校 HP > 学校図書館 > #図書館の日常随時更新中

7月になりました。

世の中が慌ただしく動いている最中に、梅雨も明け一挙に夏到来です。暑さもある事ながら、心配なのは、十島村の頻発する地震です。現地で生活する住人のみなさんが、1分1秒気の抜けない日々を過ごされていることを思うと、今自分に出来ることは何だろうとしばし考えます。

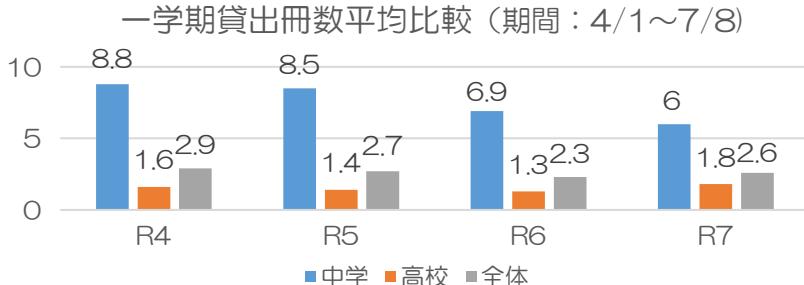
当事者である方々の現状に思いを馳せることと、自分事として捉え直し、いつ起きたとも知れない災害への対策がどこまで出来ているのかを振り返ってみることだろうか、という思いに至ります。

さて、一学期も終わります。目の前に用意されているまとまった時間へのイニシアチブを取るのは、自分自身です。ぐんぐんと成長する時間となりますように。



一学期の図書館利用状況は…

過去4年間の比較をしてみました。中学高校とも減少傾向でしたが、高校は今年度増加しています。きみろんや教科学習後の利用増が考えられます。



図書館の便利機能を活用しよう。

①蔵書検索と予約はこちらからも出来ます。

読みたい本があるか探す手段は、図書館に直接足を運び、検索用PCで調べる方法のほかに、右のQRコード（宮崎西高等学校・附属中学校図書館カーリル）を自分の端末（PC、iPad、スマホ）で読み込み、検索する方法があります。

また、同時にその本の予約も可能です。
この機会に端末に入れていつでも検索できるようにしましょう。
(ただし、学校のGoogleアカウント対応です)



②リクエストも受け付けています。

右のQRコードからリクエストフォームにアクセスし、購入してほしい本の書名等を明記してください。購入の有無および貸出可能になったら、お知らせします。こちらは、いつでも受け付けていますので必要に応じて利用してください。

あなたのリクエストが本校図書館の蔵書コレクション充実につながります。



長期貸出が始まります。



貸出期間：7月14日（月）～7月28日（月）

貸出冊数：無制限

返却日：2学期始業式（8月20日）から1週間

*貸出期間は、中学生も一緒です。

店頭購入の本が入ります。

はたらく図書委員

ビブリオバトル実施

6月29日（日）、図書委員11名で橋通りの蔦屋書店に行ってきました。

今回は、200冊の本を購入しました。

7月14日から始まる長期貸出に、順次提供できるように現在、蔵書登録作業をしています。お楽しみに。ほんの一部ですが、紹介します。

『Python2年生第2版』森巧尚著

（翔泳社）

今やプログラミングは、ここまで身近になってきた！リクエストのあった分野の本です。全シリーズ入荷！



『大阪・関西万博公式ガイドブック』

2025年日本国際博覧会

科学技術の進歩に即した博覧会。各国の技術から近未来を垣間見、体験できる。英語版有。



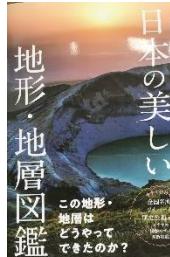
『日本の美しい地形・地層図鑑』

文・写真 竹下光士

(X-Knowledge)

全国の地形・地層ってどうなってるの？

美しいビジュアルとわかりやすい説明で堪能できる。



『透明マントのつくり方』グレゴリー・J・グバー著（文藝春秋）

SFと不可視をめぐる科学が融合すると…透明マントが現実のものになるかもしれない。



『猫の目を借りたい』横あおい（双葉社）

フシギな力を持つこの猫。あなたの望みを魅惑的な目で叶えます。でも、それはほんのわずかな時間だけ…。



『胸はしる更級日記』小柳裕美子/菅原孝標女（角川書店）

推し本は、『源氏物語』夢見がちな少女時代からリアリティ満載の大人口代そして晩年。更級の世界へようこそ。



7月8日（火）7限目LHRは読書活動でした。各クラスで図書委員を中心となり、ビブリオバトルを行いました。事前の呼びかけ、ルール紹介、全国大会の様子等を朝読時に行いました。3分という時間をどう使ってその本の面白さを紹介するかは腕の見せどころ。個性と知性がフルに発揮できた時間となったでしょうか。「本を通して人を知る人を通して本を知る」というビブリオバトルの趣旨を体感できただでしょうか。

それぞれのクラスチャンプ本は以下の本でした。

書名	著者名（出版社）	書名	著者名（出版社）
『成瀬は天下を取りに行く』	宮島未奈（新潮社）	『涼宮ハルヒの憂鬱』	谷川流（角川書店）
『キャラクター』	長崎尚志（小学館）	『山月記・李朝』	中島敦（新潮社）
『容疑者Xの献身』	東野圭吾（文藝春秋）	『怪物』	坂元裕二（宝島社）
『スイッチを押すとき』	山田悠介（角川書店）	『王様ゲーム』	金沢伸明（双葉社）
『六人の嘘つきな大学生』	朝倉秋成（角川書店）	『周作塾』	遠藤周作（講談社）
『爆弾』	吳勝浩（講談社）	『たとえ君に祈りが届かなくても君に伝えたいことがあるんだ』	汐見夏衛（KADOKAWA）
『国宝』	吉田修一（朝日新聞出版）	『帝都メルヒエン探偵録』	黒崎リク（宝島社）
『あと少し、もう少し』	瀬尾まいこ（新潮社）	『カラフル』	森絵都（文藝春秋）

高校生ビブリオバトル県大会に挑戦しよう！

毎年行われるこの県大会。優勝すると県代表として全国大会の出場権を手にすることができます。お気に入りの本をあなたのトークで誰かのお気に入りにしませんか？県大会予選会（リモート）は、10月初旬予定。決勝は10月18日（土）です。（詳細は後日）

8月22日（金）放課後、本校の代表を決めます。

我こそは！！と思うあなた、挑戦してみませんか？申込締切は7月28日、図書館まで。

